



古関裕而が後に

妻となる金子へ宛てた手紙

金子さん、
余知の立つて居る地が、
よく此処は、一人で遊ばい来ます。
下の町が、川俣です。
瀬田羽之重の産地として、金沢福井
と共に海外に送られれて居ります。
何しろ、耳をすまして聴いたら、
森の音が聞えるので、
町の八割は、此の森に囲まれています。
何しろ、まじい空に、太陽の光を、
一杯に受けて、くっきりと立っています。
山が、花畑山と言ふ山で、
南朝北朝時代に、北畠親房が
據った、あの名高い霊山の

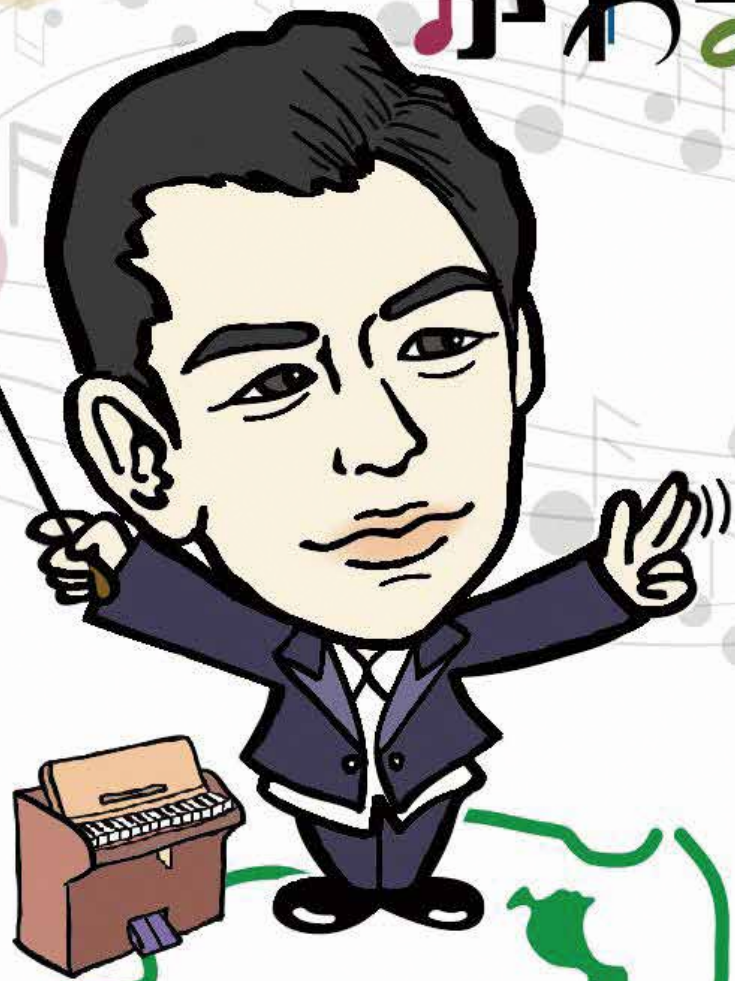


川俣町

お散歩マップ

古関裕而

ゆかりの地
かわまた



KAWAMATA TOWN



古関裕而ゆかりの地かわまた。地域の交流人口増プロジェクト



この事業は、福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）の補助金を受けて実施しています。



Facebook
はじめました

古関裕而 ゆかりのまち かわまた

お散歩マップ



川俣銀行時代

川俣町は、福島県中央北部に位置し、福島市に隣接しています。東北自動車道福島西 IC、二本松 IC までそれぞれ約 22Km、松川スマート IC まで約 17Km、東北新幹線福島駅 まで約 20Km の浜中を結ぶ交通の中心に位置しています。気候は温暖で、自然環境に恵まれた、静かな丘陵地帯です。



川俣町公式キャラクター
小手姫様



1 仙臺屋呉服店にあるオルガン

昭和初期、古関裕而が使用したオルガンがあり、今でも当時のままの音色を奏でます。見学の際は、産業課 (024-566-2111) へ事前の連絡をお願いします。



所 川俣町字瓦町 14 番地
時 10:00 ~ 16:30
休 7日・17日・27日

2 元ちりめんや (現 野地株式会社)

古関裕而の母 (ヒサ) の生家です。古関はここで、昭和 3 年 5 月から 2 年間下宿していました。塀は当時のまま残っています。



所 川俣町字新中町 25 番地

3 元川俣銀行 (現 株式会社東邦銀行川俣支店)

古関裕而の伯父の武藤茂平 (川俣銀行の頭取) に声をかけられ古関は昭和 3 年 5 月から 2 年間、勤務しました。



所 川俣町字瓦町 54 番地の 2

4 たてのやま 館ノ山

川俣町を一望できる館ノ山は、銀行員時代に仕事が終わってから好んで登った山です。ここで作曲の構想を練ったり、後に妻となる金子へ手紙を通して、愛を伝えていました。



所 川俣町字館地内

5 春日神社

春日神社は、嘉祥 3 年 (850 年) 伊達家の祖である山陰中納言藤原政朝卿により、奈良の春日大社よりこの地へ勧請されたと伝えられています。古関裕而が作曲した「川俣音頭」の歌詞にも「春日産土心願かけてこよい望月 照る紅葉」と歌われています。



所 川俣町字宮前 37 番地

6 東園寺

大きな山門のすぐ脇には大イチョウの木があり、参拝者を出迎えます。境内には、文化 12 年に飢饉の予兆が出た際に、天明の飢饉時の餓死者の冥福を祈り施餓鬼を行った際の記念碑が建っています。寺の前の小道は古関裕而の散歩道で、空を仰いで電線を楽譜替わりに曲を作っていたのでは…とされています。



所 川俣町字寺久保 40 番地

7 御霊神社

御霊神社は、元禄 2 年 (1689 年) に、京都の御霊社より御分靈を戴き、小綱木に勧請されたと伝えられ、明治 5 年 (1872 年) に現在地に遷座したものであります。古関裕而が最初に就職した川俣銀行は川俣町の有志家の手によってスタートした地元資本の銀行で、その歴史を物語る記念碑が、御霊神社の境内地内に建っています。



所 川俣町字大作 18 番地

8 ひろせがわ 広瀬川

昔と変わらぬ蔵の佇まいが並ぶ広瀬川は、古関裕而がよく散策していたところでもあります。「川俣」といえば広瀬川というほど愛着を持っていた川で、今も水に光る川面は当時のままです。



9 川俣町中央公民館

古関裕而が生涯に作曲した作品は 5,000 曲にも及びます。その中には、「川俣町民の歌」、「川俣音頭」、「川俣町立川俣中学校校歌」など、川俣町と関係の深い作品も残されています。川俣町中央公民館には「川俣町民の歌」の歌碑が建立されています。



所 川俣町字樋ノ口 11 番地
時 9:00 ~ 21:30
休 12月29日~翌年1月3日

10 川俣中学校校歌

昭和 48 年 (1973 年)、町は川俣統合中学校の各分室を廃止し川俣中学校と改称して、新校舎新築とともに現在の場所に移転しました。古関裕而は、川俣中学校の校歌も手掛けています。川俣中学校には、直筆の楽譜の他、歌唱指導の際の留意点を書かれた指導者へのメッセージも残されています。



所 川俣町字宮ノ脇 14 番地



発行：川俣町産業課商工交流係
☎ 024-566-2111 内線 1505 (川俣町字五百田 30)

●内容は、2020 年 3 月のものです。掲載内容が予告なく変更になることや時期による変動及び臨時休業などで利用できない場合がございます。ご利用の際には、予めご確認ください。
●写真はすべてイメージであり実物とは異なる場合があります。また、掲載の地図はおおよその目安となるものです。この紙面に掲載された内容により生じたトラブルや損害などについては、責任を負いかねます。